

## 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	2021 宮田村「中央アルプス山ぶどうの里」ワインまつり
事業主体 (連絡先)	中央アルプス「山ぶどうの里」づくり推進会議 事務局：宮田村役場産業振興推進室農政係
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (イ 農業の振興と農山村づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	840,892 円 (うち支援金：203,000 円)

### 事業内容

宮田村を代表する特産品「信州みやだワイン紫輝」によるワインまつりを開催し、宮田村の魅力を村内外に発信、並びに、宮田村のワイン文化の推進、街中活性化を目的に実施。

2021年12月11日(土)

開会 13:00 終了 15:00

コロナ禍の中でのイベント開催のため、協賛店舗(13店舗)を会場とし、完全前売・店舗指定チケット制で参加者を限定し実施。

参加者 200名

### 事業効果

①②来場者率、村内者 72%、村外者 28%。参加者を限定し実施したにも拘らず、全体の 1/4 以上の村外者の参加があった。「紫輝」と「紫輝樽熟成」の飲み比べや、ふるさと納税返礼品で大人気となり現在発売中のビール「ヤマソーホップ」、果汁 100%無添加の「山ぶどうジュース」と、宮田村の魅力を味わって頂く一時を提供できた。

③宮田村のワインを口にしていただく事により、宮田村のワインとその歴史について知っていただくきっかけが提供できた。

④飲食店を会場に実施出来たことにより、村外の方に対しては村内のお店を知り、足を運んでいただくきっかけとなった。まつり当日は、まつり終了後も村内の飲食店へ足を運ぶお客さんで溢れかえり、閉店までまちなかが賑わっていた。

### 今後の取り組み

今後、宮田村のまちなかつァーや他団体のイベント、街中活性化組織と協力・参画を促しながら、JR 宮田駅前周辺会場にとどまらず、年々場所を変えてローテーションさせながら実施をし、更なる宮田村の PR、宮田ワイン文化・山ぶどう栽培の推進、村内活性化に繋げて行く。



【開会式(乾杯)の様子】

### 【目標・ねらい】

- ①宮田村並びに特産品の PR
- ②宮田産ワイン、関連製品の PR
- ③宮田村のワイン文化の推進
- ④街中の活性化

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

コロナ禍のため、当初予定していた会場、内容等変更しての開催となったが、3年ぶりにイベントを開催することができ、今後につながる足がかりとなった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある